

交流広げて仲間づくり

町体育協会シヨートテニス部シニアクラブ

皆さんはシヨートテニスをやったことはありますか。

シヨートテニスは、テニスボールよりやや大きめのスポンジボールと軽いラケットを使って、バドミントンコートを利用して行うスポーツです。

今回は、町体育協会シヨートテニス部シニアクラブ（以下クラブ）部長の近藤正弘さんにクラブの活動についてお話を伺いました。

いつまでも活動できる環境を

65歳を過ぎて、町のシヨートテニス部に入部した近藤さん。最初は、みんな楽しく活動していましたが、あるときから高齢の部員が退部するようになりました。

退部した人たちは、シヨートテニスには好きだけど、体力面などの問題から大会に参加できなかったり、大会に出場しても若い選手と対戦して

結果が出なかったりして、シヨートテニス部を離れていったそうです。

「いつたから高齢者がやりがいをもっていつまでもシヨートテニスを楽しみたいことができるのかということを考えました」と近藤さんは言います。

そこで、高齢者だけのカテゴリーをつくって同年代の人だけで活動できる環境があれば、楽しく活動できるのではないかと思い、クラブを立ち上げました。

健康づくりと仲間づくり

体力などを考慮し、男性65歳以上、女性60歳以上を基本としたクラブは、現在約30人の部員が所属し、毎月2回の練習と春、秋に開催される大会を楽しむに活動しています。

皆さん和気あいあいとしヨートテニスを楽しんで、最高齢者は、なんと82歳。とても元気に活動しているそうです。

設立当初は、クラブで自主的に練習や大会などの活動をしていましたが、平成27年度から年に1回、町体育協会が大会を主催してくれるようになりました。

大会では、近隣市から参加者を招

待して、市町を超えた交流もしています。参加者から

は、「みんなと触れ合いながら健康づくりができてうれしい」「町外の人とつながりができ、新しい仲間ができた」などの声が近藤さんに届くといいます。



勝敗より大切なもの

クラブのモットーは「勝負より交流」。勝ち負けよりも参加者が親睦を深めて交流を広げることが大切であると考え活動しています。

「これからは、いつまでも健康でクラブに参加でき、さらに親睦を図ることができるよう環境づくりをしていきたい」と近藤さんは力を込めます。

クラブは毎月第2、4金曜日の午前に町総合体育館で活動しています。皆さんも生涯スポーツとして、健康づくりや仲間づくりのために参加してみたいいかがですか。

そだ 育っています!

No. 435

音楽に合わせてのダンスが好きな葉那お姉ちゃん。ついていこうと高速ハイハイ・足をぶるぶるさせながらのたっちなどを9か月頃からするようになった侑雅くん。パパもママもスポーツをやってきたので、2人と出来る日が待ち遠しいです！葉那ちゃん、侑雅くん産まれてきてくれてありがとう♡これからもよろしくね！



かな 葉那ちゃん (2歳)

ゆうが 侑雅くん (10カ月)

川本 和志さん・めぐみさんの
長女、長男（白土）